【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2002-267767(P2002-267767A)
【公開日】平成14年9月18日(2002.9.18)
【出願番号】特願2001-68474(P2001-68474)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｖ　8/12　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　7/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｈ　35/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　31/12　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｖ　9/04　Ｋ
Ｂ６５Ｈ　7/02
Ｈ０１Ｈ　35/00　Ｖ
Ｈ０１Ｈ　35/00　Ｂ
Ｈ０１Ｌ　31/12　Ｄ
Ｇ０１Ｊ　1/02　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成19年12月19日(2007.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　発光手段と、
前記発光手段が発した光を受光する受光手段と、
前記受光手段が光を受光したことに応じて、前記発光手段と前記受光手段との間の光路上にシートがないと検知する検知手段と、
前記受光手段に向けて光を発し、前記受光手段により受光される光の光量を増加させる補助発光手段と
を有することを特徴とするシート検知装置。
【請求項２】　前記シート検知装置はシート搬送装置に設けられ、前記補助発光手段は前記シート搬送装置の動作中は常時点灯していることを特徴とする請求項１記載のシート検知装置。
【請求項３】　前記検知手段は、前記補助発光手段が発した光を前記受光手段が受光した受光レベルの分を補正することを特徴とする請求項１記載の用紙センサ。
【請求項４】　発光手段と、
シートから反射した前記発光手段からの光を受光する受光手段と、
前記受光手段が光を受光したことに応じて、前記発光手段と前記受光手段との間の光路上にシートがあると検知する検知手段と、
前記受光手段に向けて光を発し、前記受光手段により受光される光の光量を増加させる補助発光手段と
を有することを特徴とするシート検知装置。
【請求項５】　前記発光手段は、周期的に点灯・消灯を繰り返し、前記検知手段は、前記発光手段の発光する周期に同期して検出を行うことを特徴とする請求項４記載のシー

ト検知装置。

【請求項６】　前記補助発光手段は、前記シート検知装置はシート搬送装置に設けられ、前記シート搬送装置の動作中は常時点灯していることを特徴とする請求項４記載のシート検知装置。

【請求項７】　前記検知手段は、前記補助発光手段が発した光を前記受光手段が受光した受光レベルの分を補正することを特徴とする請求項４記載のシート検知装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】

上述の問題を解決するため、本発明は、発光手段と、前記発光手段が発した光を受光する受光手段と、前記受光手段が光を受光したことに応じて、前記発光手段と前記受光手段との間の光路上にシートがないと検知する検知手段と、前記受光手段に向けて光を発し、前記受光手段により受光される光の光量を増加させる補助発光手段とを有することを特徴とするシート検知装置を提供するものである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】

また、本発明によれば、発光手段と、シートから反射した前記発光手段からの光を受光する受光手段と、前記受光手段が光を受光したことに応じて、前記発光手段と前記受光手段との間の光路上にシートがあると検知する検知手段と、前記受光手段に向けて光を発し、前記受光手段により受光される光の光量を増加させる補助発光手段と、を有するので、シート検知の応答速度を高めることができる。